



2020年9月期第2四半期 連結決算説明資料

 System Answer® シリーズ

<https://www.abc21.co.jp/>

アイビーシー株式会社

証券コード:3920

2020年6月5日

1. 新型コロナウイルスの影響について	P.2
2. 2020年9月期第2四半期 連結決算概況	P.4
3. 2020年9月期第2四半期の取り組み	P.11
4. 2020年9月期業績予想の修正について	P.17
5. Appendix	P.20

1. 新型コロナウイルスの影響について

※ IBC

新型コロナウイルスへの対応

感染予防の徹底と緊急事態宣言を受けた「職場対応マニュアル」を策定

テレワークの実施(原則全社員)

WEB会議の活用

新型コロナウイルスによる業績への影響

第2四半期連結累計期間の業績予想(2019/11/13公表)と実績に差異

感染拡大防止のため顧客事務所への訪問が制限されたことにより、新規顧客販売や作業を伴うソリューション売上、一部物流の影響を受けた物販が先送りされたことにより、売上高は予想を251百万円下回った。

売上減少に伴う売上総利益の減少により、販管費を抑制したものの、営業利益、経常利益は予想を下回り、また、子会社2社の事業計画を見直した結果、2社に係る特別損失を203百万円計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益も予想を下回った。

一方で、感染拡大を受けたリモートワークや学校や塾によるオンライン学習、官公庁や自治体による情報発信及び受付などのWEBサービス、オンラインショッピングなどの利用急増は、システム情報管理ソリューションを提供する当社にとって中期的に追い風。

2. 2020年9月期第2四半期 連結決算概況

※ IBC

	19/9期 2 Q 連結累計期間	20/9期 2 Q 連結累計期間	前年同期比	業績予想比
売上高	876	920	5.0%	▲21.5%
売上総利益	651	615	▲5.6%	
販売管理費	488	585	19.8%	
営業利益	163	29	▲81.6%	▲83.6%
営業利益率	18.6%	3.3%		
経常利益	163	18	▲88.7%	▲88.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	106	▲225	—	—

(単位:百万円)

- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により顧客事務所への訪問が制限され、新規顧客向け販売や作業を伴うソリューション売上の先送りがあったが、前年同期比で5.0%の増収。
- ✓ サービスラインナップの多様化により粗利率が低下し、人件費及びのれん償却費等販管費が増加したことから、営業利益は前年同期比で減少。
- ✓ 新型コロナウイルスの影響等を踏まえ、子会社2社の事業計画を見直し、回収可能性を勘案した結果、のれん、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定の減損処理等204百万円の特別損失を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失が225百万円となった。

(単位:百万円)

営業利益の減少要因

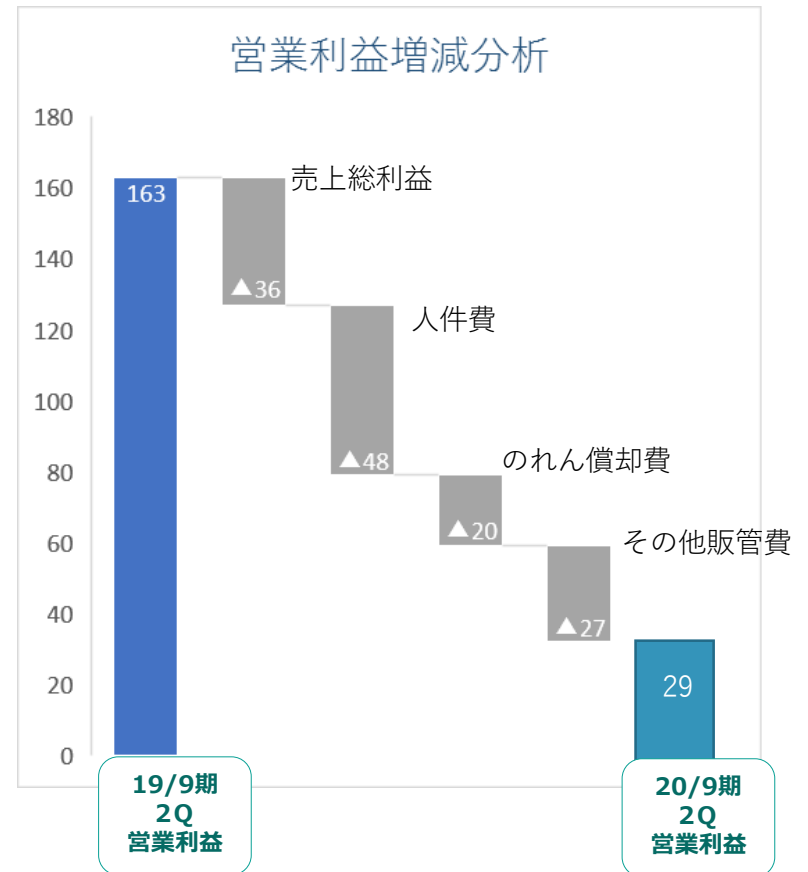
- ✓ サービスラインナップの多様化により売上総利益率が66.9%に低下(前期は74.3%)し、36百万円減少。
- ✓ 販管費が96百万円増加。(ただし、前年同期に含まれていないサンデーアーツの販管費45百万円が含まれる。)

主な増加要因

人件費 48百万円

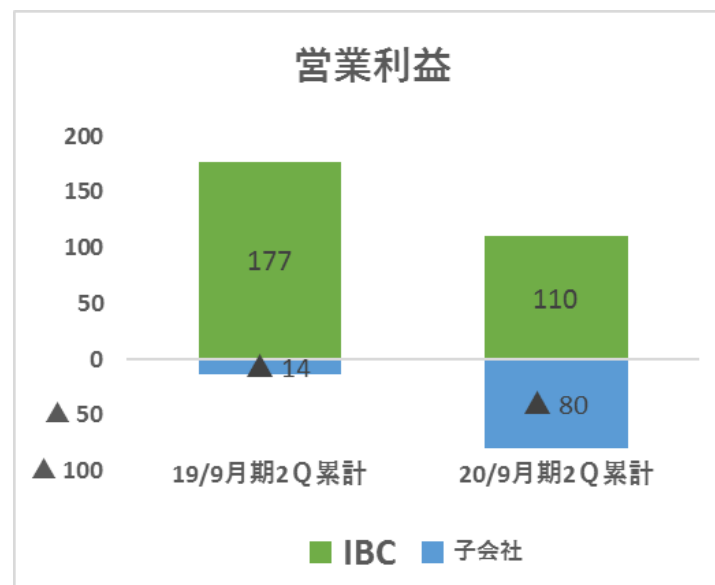
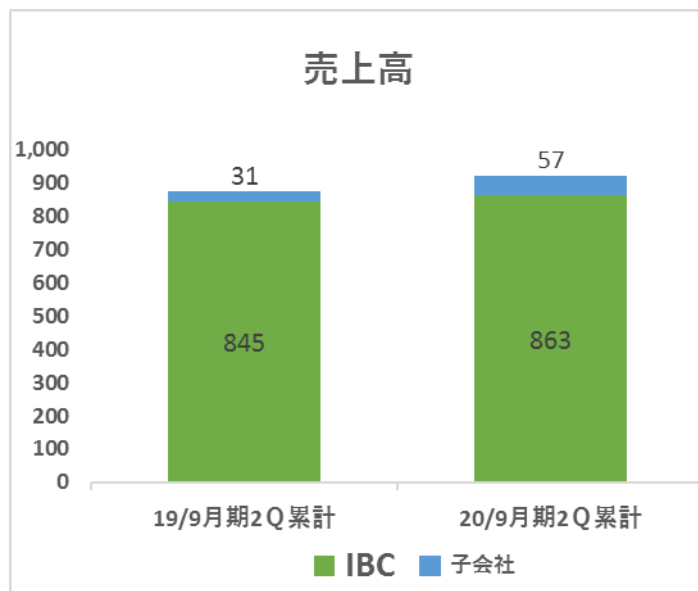
のれん償却費 20百万円

その他 27百万円



連結子会社2社に係る特別損失の計上について

(単位:百万円)



- ✓ 連結売上高に占める子会社2社の割合は6.2% (前年同期は3.6%) また、営業利益に対する寄与度は低い状況。
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえ子会社2社の事業計画の見直しを行い、将来の収益見通しと回収可能性を勘案した結果、iChainのソフトウェア及びソフトウェア仮勘定117百万円、サンデーアーツに係るのれん85百万円他、計203百万円を減損損失として特別損失に計上。
- ✓ 個別決算においても上記背景を踏まえ、関係会社株式評価損317百万円その他、貸倒引当金繰入額100百万円、関係会社投資損失引当金繰入額69百万円、債務保証引当金繰入額25百万円を特別損失に計上。(連結業績への影響はない。)

- ✓ ライセンスの販売は、情報通信業、製造業を中心に新規案件が増加したものの、年間で規模が決まっている更新案件額が前年より少なかったことから5.7%減。
- ✓ サービスの提供は、システムインテグレーション案件が堅調であった他、次世代MSPサービスSAMS案件の増加、大型のISAS(IBCセキュリティアセスメントサービス)案件により30.2%増。
- ✓ その他物販等は、前期にあったPC等納入大型案件が減少した一方で、セキュリティ関連商材の売上が増加した他、kusabi™関連の売上も計上し1.0%増。

(単位:百万円)

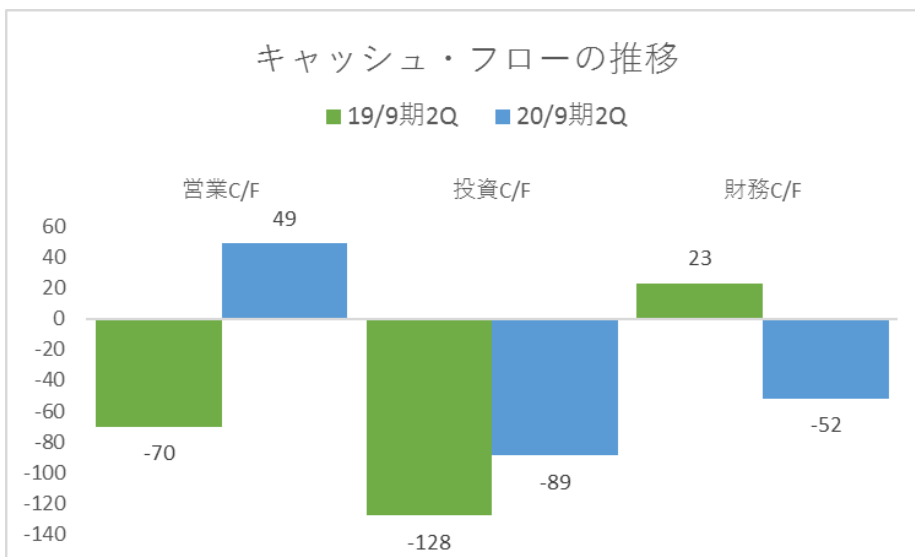
区 分	20/9月期 第2 四半期 累計	19/9月期 第2 四半期 累計	前年同期比(%)
ライセンスの販売	481	510	▲5.7
サービスの提供	196	150	30.2
その他物販等	185	183	1.0
合 計	863	845	2.2

2020年9月期 通期連結決算 連結貸借対照表

資産の部	2019年9月末	2020年3月末	差額	(単位:百万円)
流動資産	1,972	1,853	▲118	
(内、現金及び預金)	925	832	▲92	
固定資産	704	497	▲206	
資産合計	2,676	2,351	▲325	
負債及び純資産の部	2019年9月末	2020年3月末	差額	
流動負債	953	899	▲53	
固定負債	95	89	▲6	
負債合計	1,049	989	▲60	
株主資本	1,629	1,361	▲267	
その他	▲1	0	1	
純資産合計	1,627	1,361	▲265	
負債純資産合計	2,676	2,351	▲325	

- ✓ 資産は、現金及び預金、売掛金が減少し、また、のれんの償却及び減損、ソフトウェア及びソフトウェア仮勘定の減損等により無形固定資産が減少したことにより325百万円減少。
- ✓ 負債は、未払法人税等が減少したことにより60百万円減少。
- ✓ 純資産は、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少や自己株式の増加により265百万円減少。
- ✓ 自己資本比率は57.9% (前期末は60.8%)

(単位:百万円)



- ✓ 営業C/Fは、税金等調整前四半期純損失の計上、仕入債務の減少及び法人税等の支払い等により資金が減少した一方で、減価償却費、のれんの償却、減損損失の計上及び売上債権の減少により資金が増加し49百万円の収入。
- ✓ 投資C/Fは、無形固定資産の取得による支出や保険積立金の積立による支出等により89百万円の支出。
- ✓ 財務C/Fは、長期借入金の返済及び自己株式の取得による支出等により52百万円の支出。

	19/9期2Q	20/9期2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	△70	49
税金等調整前四半期純利益	163	△186
減価償却費	13	25
減損損失	—	203
売上債権の増減額(△は増加)	△231	29
仕入債務の増減額(△は減少)	16	△13
法人税等の支払い	△38	△62
その他	5	52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△128	△89
無形固定資産の取得による支出	△9	△76
投資有価証券の取得による支出	△109	—
その他	△9	△13
財務活動によるキャッシュ・フロー	23	△52
短期借入による純増額	250	—
自己株式の取得による支出	△226	△43
その他	0	△9
現金及び現金同等物の期首残高	901	925
現金及び現金同等物の四半期末残高	725	832

4. 2020年9月期第2四半期の取り組み

※ IBC

性能監視から情報監視へ、監視は新たなステージへ

「System Answer シリーズ」



<追加された新機能>

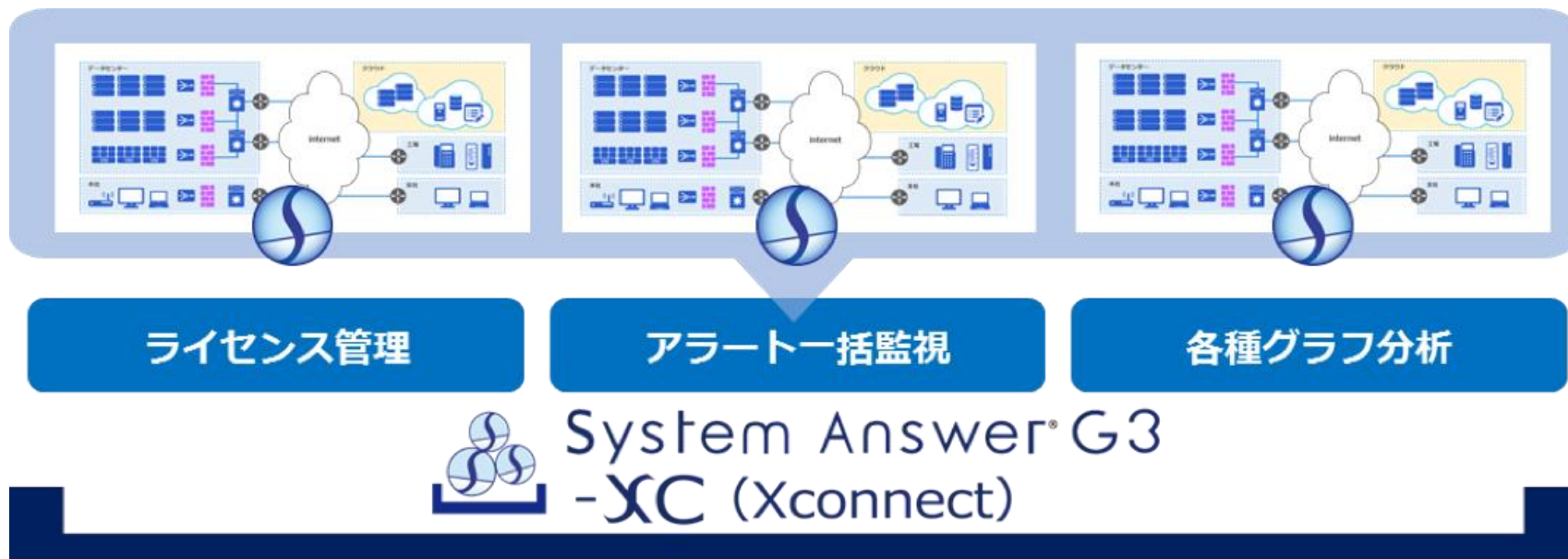
トポロジー表示	マルチテナント対応
ポータル表示	AWS 対応
性能データ演算	IPMI 監視
Webシナリオ監視	

<特徴>

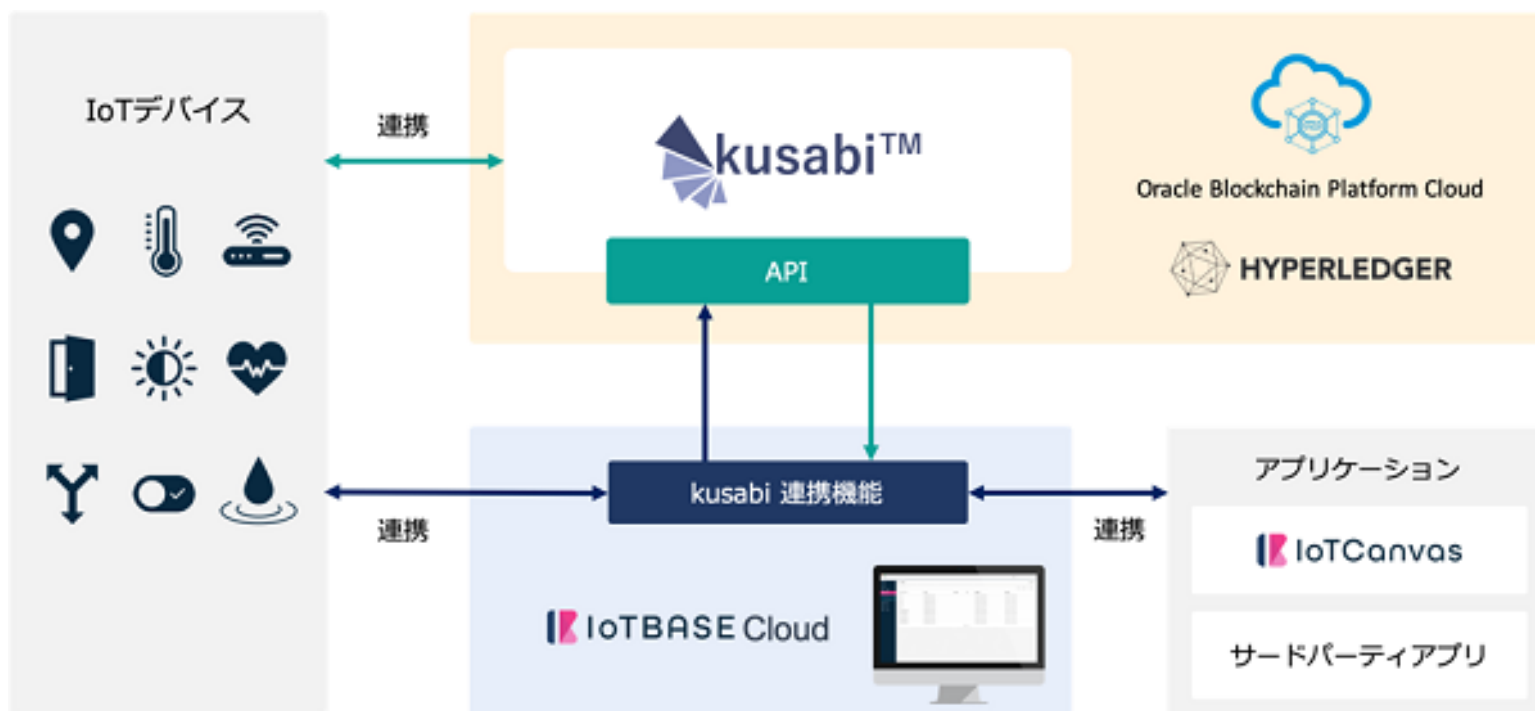
- | | | | |
|-------------------|----------------|----------------|----------------|
| 監視項目の自動化 | 分析の自動化 | 大規模死活監視 | VM監視 |
| 1分間 / 3年保存 | レポーティング | スケールアウト | マルチベンダー |

お客様のニーズにお応えする新サービスで新たな顧客層の獲得及び売上増大を目指します。

- ✓ System Answer G3 - XC (Xconnect:クロスコネクト)は、複数の System Answer G3 を一元管理する機能。
- ✓ 完全マルチテナント対応をしているため、MSP (運用管理) 事業者様や複数システムを大規模に管理する必要のあるお客様の運用コストを大幅に削減します。



- ✓ アイビーシーが提供するブロックチェーンを利用した新PKI技術(公開鍵暗号方式に基づく電子認証の技術基盤)である「kusabi™」と、IoTBASE(本社:東京都豊島区 代表取締役:澤和寛昌)が提供するIoTプラットフォーム「IoTBASE Cloud」はAPI連携し、専門技術や開発環境がなくともセンサーデバイスへ高度なIoTセキュリティ対策を実装できるサービスの提供に向けて4月14日より業務提携を開始。
- ✓ 両社は共同でIoTセキュリティ運用環境構築の実証実験を進めており、kusabi™の実行環境として日本オラクルが提供するOracle Blockchain Platform Cloudを活用し、クラウド完結でスピーディなIoTデバイスセキュリティサービスの提供を目指す。



- ✓ 第4回関西クラウド業務改革EXPO(2020/1/29~31)に出展し、クラウド運用の課題解決に繋がるサービスを紹介しました。(写真:左下)
- ✓ 日経BP主催 東京デジタルイノベーション(2020/2/18~19)に協賛し、「事例に学ぶ、予防保守を実現する正しい運用監視」と題した講演を行いました。(写真:右下)



「Newsweek 日本版」に当社代表取締役社長加藤と早稲田大学教授の対談記事が掲載されました

株式会社 CCC メディアハウスが発行するビジネス誌「ニューズウィーク日本版」に、当社代表取締役社長である加藤裕之と早稲田大学教授の対談記事が掲載されました。

新型コロナウイルスのパンデミックにより、図らずもリモートワークやオンライン学習など情報ネットワークの活用が爆発的に加速したオンライン社会は、常にサイバー攻撃の脅威にさらされることとなります。

サイバー攻撃による危険性、防御するために必要な対策、それらを実現する仕組みや人材の育成など、オンライン社会においてセキュリティを担保するための情報や知識について掲載されております。

【掲載誌】

「ニューズウィーク日本版」2020年6月2日号（5/26 発売）P.46 ~ P.47

「FastGrow」に当社代表取締役社長加藤のインタビュー記事が掲載されました

スローガン株式会社が運営するビジネスコミュニティ「FastGrow」に、当社代表取締役社長である加藤裕之のインタビュー記事が掲載されました。

新型コロナウイルスの影響が収束した後の変化や、その際にビジネスパーソンが問われる姿勢や能力について、加藤自身の見解を述べさせていただきました。

【掲載ページ】

<https://www.fastgrow.jp/articles/ibc-kato>

4. 2020年9月期業績予想の修正について



- テレワークやオンラインコミュニケーション拡大を好機と捉え、売上増大を目指します。
- ✓ 新型コロナウイルス感染防止対策に伴うテレワークの拡大、オンラインショップの利用者急増、教育機関でのオンライン授業の利用推進などにより、システムやネットワークに想定外の負荷が生じて十分なサービス提供が行えない状況が発生している。
- ✓ 当社が提供するシステム情報管理ソリューション導入により、各システムの基盤となるネットワークやサーバーをはじめとしたICTインフラの負荷状況を正確かつ迅速に把握し、システムチューニングやシステム増強などの対策を的確かつ適時に実施することが可能となります。
- 新製品「System Answer G3-XC (Xconnect : クロスコネクト)」により、新たな顧客層の獲得を目指します。
- Kusabi™については、実証実験(PoC)を踏まえ実ビジネスへと展開します。

新型コロナウイルス感染拡大の今後の影響については依然不透明であることから、2019年11月13日に公表した2020年9月期の連結業績予想を一旦取り下げて「未定」とし、適切な予想が可能となった時点で開示いたします。

(単位:百万円)

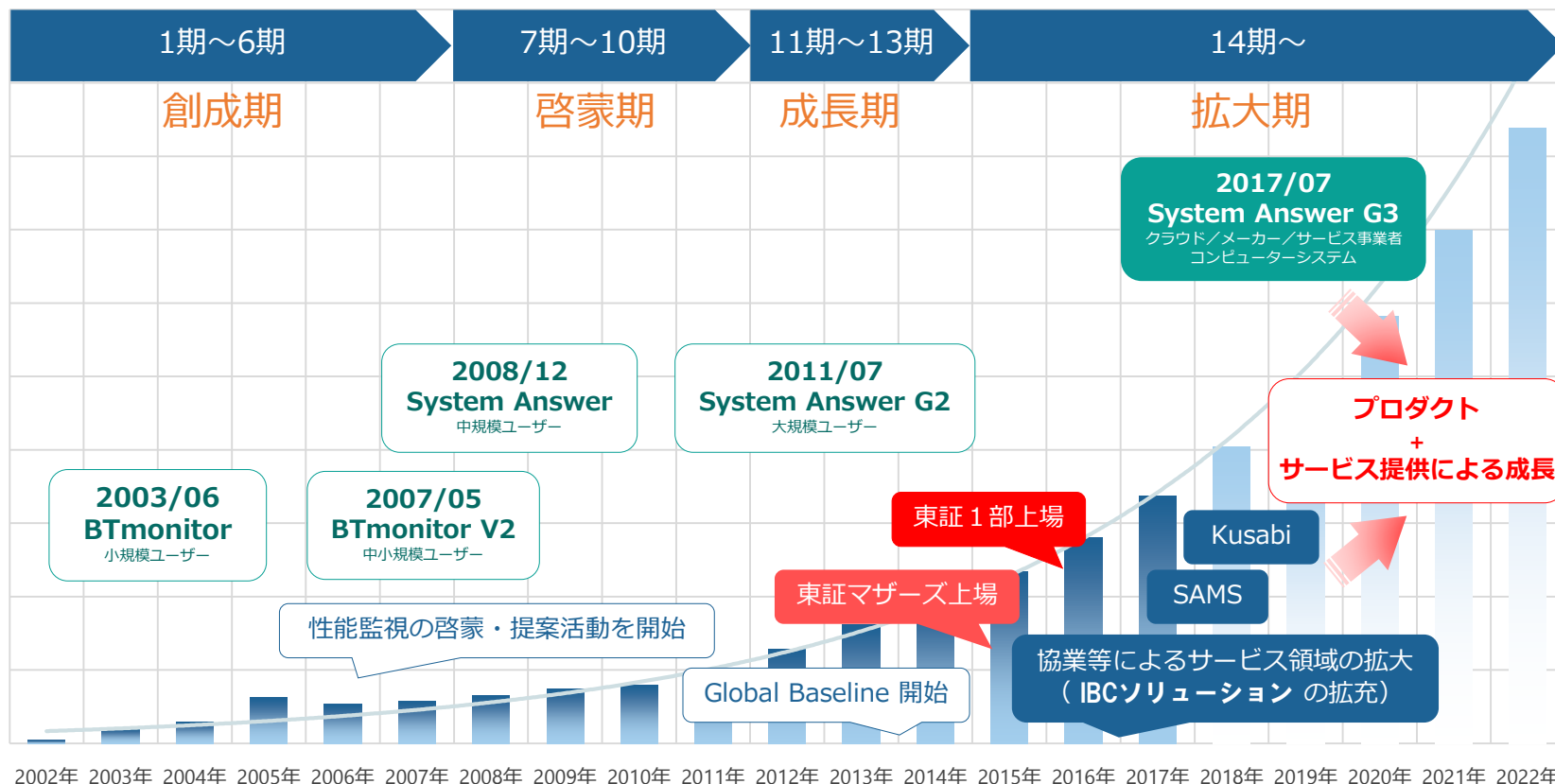
区 分	2020年9月期 (今回)	2020年9月期 (前回)	前期比(%)
売上高	—	2,555	—
営業利益 (利益率)	—	352 (13.8%)	—
経常利益 (利益率)	—	311 (12.2%)	—
親会社株主に帰属する 当期純利益 (利益率)	—	212 (8.3%)	—

5. Appendix



社名	アイビーシー株式会社 Internetworking & Broadband Consulting Co.,Ltd.
本社	東京都中央区新川一丁目8番8号 アクロス新川ビル8F
設立	2002年10月16日
決算月	9月
資本金	441,730千円 (2020年3月31日現在)
代表	代表取締役社長 加藤 裕之
事業内容	ネットワークシステム性能監視ツールの開発／販売／サポート ネットワークシステムの性能評価サービス ネットワークシステムの設計／構築／コンサルティング IoTセキュリティ基盤サービスの開発 / 提供 各種機器販売／ソフト販売
従業員数	単体73名、連結101名 (2020年3月31日現在)

性能監視のリーディングカンパニーからITサービスへ進化を続けるSystem Answerシリーズを中心に、他社との協業等によるサービス領域の拡大(IBCソリューション等の拡充)を推進。今後はマーケットの変化に対応した **サービスの積極的な提供** による成長を目指す。



性能監視 / 情報管理

●稼働状況・障害予測の把握
情報管理 / 性能監視ソフトウェア
System Answer シリーズ

装置の操作性で、誰でも直感的にネットワークやサーバー機器の現状把握が可能です。長期および短期の傾向を的確に把握することで、障害の萌芽を見逃しません。

●内部統制
統合ログ管理オプション
LOG OPTION

各機器が出力するシスログ、イベントログ、アプリケーションログを収集し、ネットワークシステムの性能情報とあわせて、運用に必要な情報を一元管理することができます。内部統制強化、情報セキュリティ対策、システム障害対応などにも活用いただけます。

●性能監視の指標データ
性能指標公開サービス
Global Baseline

マルチベンダー環境で計測される性能情報を「Global Baseline サーバー」にて収集・統計をおこない、各製品の性能監視の指標となる統計情報を公開するサービスです。

●レポートニングサービス

ネットワークシステムの監視に長年携わってきた経験豊富なエンジニアが、客観的な立場でお客様の ICT システムを分析し、結果をご報告します。

●運用支援サービス

製品の使用方法や活用方法のレクチャー、監視項目の見直しといった製品の有効活用の支援をおこないます。

●24 時間 365 日サポート
24 365

System Answer シリーズのサポートを夜間および休日まで拡大し、24 時間 365 日でのサポートサービスを提供します。

クラウド

●次世代 MSP サービス
SAMS

ネットワークシステムの情報管理 / 性能監視に長年携わってきた性能分析のノウハウを活かし、将来的に障害を発生させないインフラ環境を目指すことを目的としたサービスです。

●クラウド型性能監視サービス
on SAMS

情報管理 / 性能監視ソフトウェア「System Answer シリーズ」をクラウドサービスとして提供します。規模やサービスの拡大に柔軟に対応したいお客様、資産を持たずに監視運用したいお客様に最適なクラウド型監視サービスです。

●クラウド型統合ログ管理サービス
LOG on SAMS

シスログ / トラップ や Windows / NetApp / VMware、クラウド環境などの各種ログを収集し、構造的な分析やリアルタイム検知・通知が可能な統合ログ管理システムを、クラウドサービスとして提供いたします。

●SAMS オプションサービス
SAMS レポート

IBC 推奨のしきい値をもとに Warning や Information の事象を自動出力し、直近 1 ヶ月以内に障害が発生する可能性がある箇所をピックアップします。中長期にわたって対処が必要な箇所を把握することができます。

●最適クラウド提案サービス
クラウドインテグレーション

AWS、Microsoft Azure などの主要なクラウドサービスを始め、お客様のシステムに適したクラウド構築を弊社から導入・構築までご提供いたします。また、「SAMS」による運用サービスを含め、構築から運用までトータルのご提案が可能です。

●ユーザー体験レスポンス
品質管理サービス
レスポンス

国内外の複数拠点からサービス品質の指標となるレスポンスを測定し、「お客様の体験レスポンス」を簡単に低コストで把握することができるサービスです。

ネットワークサーバー
VMware

ハイブリッド監視

SAMS

プラットフォーム

SAMS プラットフォームに接続・サービスを利用いただくことで、情報システム部門業務全般の代行や支援をおこないます。お客様の業務を劇的に改善するサービスの提供を目指します。

クラウド型インフラ管理
Kompira

運用維持業務の自動化により、人的コストの削減とサービス品質の向上を実現します。各種システムと連携可能なため、今あるシステムを最大限有効活用できます。

●運用自動化
運用自動化プラットフォーム
Kompira

フロー分析

詳細トラフィック

●脆弱性管理
あらゆる資産を可視化
tenable.io

エージェント型、アクティブスキャン、パッシブスキャンなど豊富な検出方法で、継続的な管理を実現します。Tenable 社が Approved Scanning Vendor のため、ユーザー自身で PCI ASV 認証が可能です。

●セキュリティ情報イベント管理
統合ログ管理システム
Logstorage-X /SIEM

ログの相関分析により、グレーなログをリアルタイムに検知します。事前作成したルールにもとづき、フィルタリング・検知を実施します。フィルタ後のログは、長期間保存が可能です。

コンフィグ管理

通信別品質

●性能アセスメントサービス
IPAS

Office 365 などのクラウドサービスにおける遅延やアクセス不可などの問題を特定し、適切な解決策を導き出します。アセスメントサービスをご利用いただくことで、「どこで」「なぜ」を明らかにし、最適なキャパシティ管理を実現します。

●セキュリティアセスメントサービス
ISAS

診断から保護まで、企業のセキュリティ課題に応じたソリューションをワンストップで提供しています。ツールによる自動診断と手動診断を組み合わせてご提供することで、コストとセキュリティを両立する効率的なセキュリティ診断が可能です。

●SSL サーバー証明書
Symantec Cybertrust

SSL サーバー証明書の取得にご利用いただけるクーポンを安価でスピーディーにご提供いたします。デジサポート・ジャパン合同会社の Excellent Partner であるため、クーポンを安価に購入することができます。

●セキュリティ保護ツール
Red Web 改ざんチェック Cloud

自動診断サービスと Web 改ざん検知サービスを提供しています。自動診断サービスは Web アプリケーションおよびネットワークを対象としたクラウド型の脆弱性診断サービス、Web 改ざん検知サービスは SaaS 型のセキュリティサービスです。

●ネットワークの詳細調査
フロー分析、振る舞い検知
Flowmon
Driving Network Visibility

フロー分析によって、より高度なセキュリティ対策、詳細なネットワーク調査をおこなうことができます。ADS オプション機能により、振る舞い検知も可能です。レポート機能も充実しています。

●プロトコル別トラフィック監視
ネットワーク品質の可視化オプション
Quality Analyzer Option

ネットワークシステムの性能情報と経路上を流れるパケットデータを組み合わせることで、インフラ機器の性能情報から運用側の品質状況（パケットロス率、コネクशन数、RTT、アプリケーション遅延）まで一元的に可視化することができます。

●コンフィグ管理
総合的なコンフィグ管理
Net LineDancer

コンフィグ管理とオペレーションターミナルサーバーとして活用できます。完全日本語対応、ウィザードによる GUI を提供し、画面操作も簡単です。

●クラウド型エンドポイント管理
エンドポイントセキュリティ管理
ISM CloudOne

標的型攻撃対策や内部不正防止に有効なクラウド IT 資産+セキュリティ管理ツールです。ローションフリーで、どこにいても管理対象すべてにポリシーの適用と脅威対策の実施が可能です。

●クラウド型 WAF
Web セキュリティサービス
攻撃遮断くん

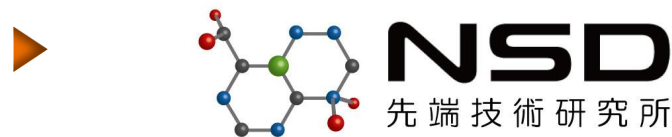
対策サイト数は国内 No.1 で、運用でお客様の手を煩わせることなく、web サービスのセキュリティ対策が可能です。国内唯一の定額制サービスも提供しています。

●AI × ビックデータ自動運用サービス
AWS WAF 自動運用サービス
WafCharm

AI × ビックデータによる WAF の自動運用サービスです。シグネチャ最適化技術を用いた「WafCharm」AI が、WEB サイトごとにおすすめめのシグネチャを判別して提供・自動運用します。

品質管理

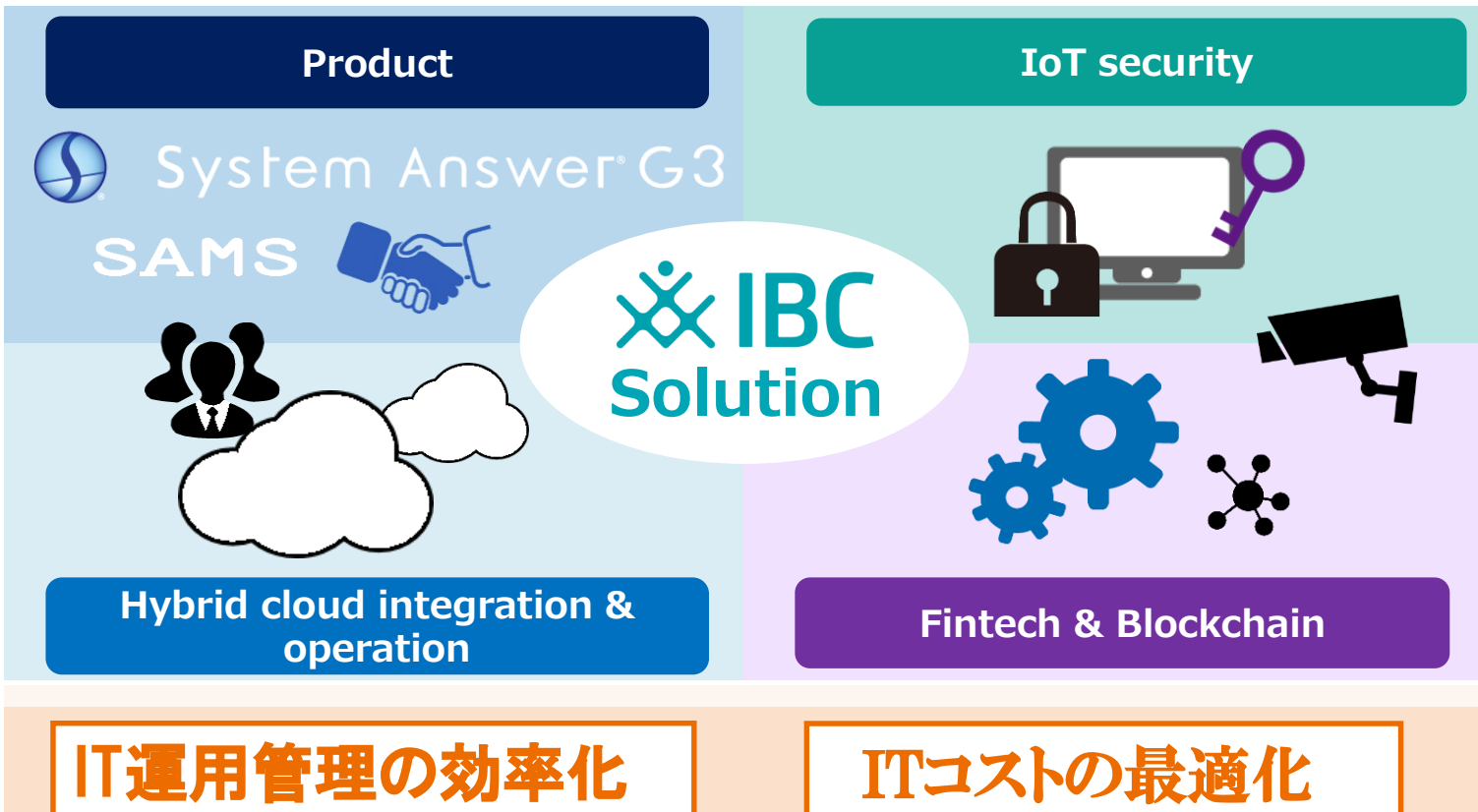
セキュリティ対策



(持分法適用関連会社)

インターネットに繋がる様々なデバイス及びパブリッククラウドを含めハイブリッド環境を自社開発製品「SystemAnswerG3」で唯一可視化できる会社。

ソリューション事業



IoTセキュリティ



IoTセキュリティ基盤サービス kusabi™

電子証明システム 特許第6340107号、6480528号

デバイスプロビジョニングシステム 特許第6340120号

アメリカ国立標準技術研究所 (NIST) に準拠

- ▶ Kusabi™は、IoTデバイスに対するセキュリティ対策を義務化した総務省の省令改正（2020年4月）に対する対応が可能なサービスです。



インシュアテックで
世の中を少し便利にする

保険のエコシステムを最新の
テクノロジーで実現化しようと
している会社

株式会社サンデーアーツ

- ▶ 2019年4月に簡易株式交換により完全子会社化。
- ▶ 最先テクノロジーによるシステム開発を行っている。

ブロックチェーン開発事業

AI開発事業

RPA開発事業

ソフトウェア開発事業

システムエンジニアリング
サービス (SES) 事業

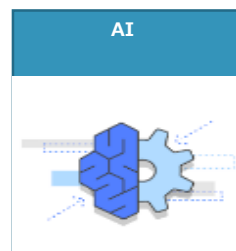
パッケージソフトウェア
開発、販売事業

株式会社NSD先端技術研究所

(持分法適用関連会社)

AI、IoT等の先端技術を活用した研究開発・サービスを創出

 System Answer® G3



SAMS
プラット
フォーム



次世代 MSP サービス
SAMS

(出資先概要)

- 設立 2019年4月1日
- 代表者 黄川田 英隆
- 資本金 資本金100百万円
- 親会社 株式会社NSD本社(代表取締役社長 今城 義和、東証1部)
- 2019年4月25日出資。
- 議決権所有割合(30%)の持分法適用関連会社。非常勤役員1名派遣。

アイビーシーグループの持つ先端テクノロジーと総合力でお客様に
ベストソリューションを提供し、また、次世代向け新サービスの開発に
も積極的に取り組んでおります。



1 Environmental Initiatives 環境への取り組み

調達品をグリーン購入に切り替え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選んで購入しています。また、廃棄していた広告FAXや雑紙の裏面を利用し、メモ帳としてリサイクルする「メモ帳運動」を実施しています。

12 つくる責任 つかう責任 	14 海の豊かさを 守ろう 	15 陸の豊かさも 守ろう
-----------------------	----------------------	----------------------

2 Social Contributions 社会貢献

ペットボトルキャップを回収、その売上を「NPO法人 世界の子どもにワクチンを」へ、郵便物の切手（使用済）を集め、「公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会」へ寄付しています。

3 すべての人に 健康と福祉を 	4 質の高い教育を みんなに 	12 つくる責任 つかう責任 	17 パートナシップで 目標を達成しよう
------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------------

3 Work Style Reform 働き方改革

産後も女性が安心して働ける環境作り、男性も積極的に育児に参加できる環境作りを目指し、育児休暇の活用促進を行い、ワークライフバランス、育休復帰後の働き方の選択のため、在宅勤務制度を新たに導入いたしました。

4 質の高い教育を みんなに 	5 ジェンダー平等を 実現しよう 	8 働きがいも 経済成長も
-----------------------	-------------------------	----------------------



Educational Promotion

4 教育推進

自己研鑽のための通信/通学で受講できる研修システムを導入。これからの多様な働き方に適応していく人材の育成に取り組んでいます。また、次世代技術者の育成支援のため、プログラミングコンテスト等の学生向け技術者コンテストにスポンサーや審査員として協賛しています。2020年2月29日、3月1日に開催される「ICTトラブルシューティングコンテスト2019」のゴールドスポンサーとして協賛。

4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいも
経済成長も



Innovation

5 技術革新

kusabi™は、全てが繋がる時代の「個の認証」に対して、トレイサビリティを実現するべく、応用できる技術開発に取り組んでいます。

9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



11 住み続けられる
まちづくりを



情報セキュリティ:

アイビーシーは、セキュリティの重要性を認識し、適切な取り扱いおよび管理を行うことは重大な社会的責務であると考えます。この責務を十分に果たし、お客様に信頼される企業であり続けるために、日本工業規格「JIS Q 15001:2017」に従い個人情報保護マネジメントシステムを整備。2019年10月に、一般財団法人 日本情報経済社会推進協会よりプライバシーマークの付与認定を受けました。



事業継続:

アイビーシーは、起こりうる大規模災害を想定したリスク対応として、災害備蓄品の配備、VDIシステムにより、セキュリティを確保した状態でのリモートワークを行える環境の導入等のBCPの整備を行っております。

【免責事項及び将来見通しに関する注意事項】

本資料は、アイビーシー株式会社(以下「当社」といいます。)の財務情報、経営情報等の提供を目的としており、内容についていかなる保証を行うものではありません。

本資料に記載されている当社以外の企業等に関わる情報及び当社以外の第三者の作成に係る情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、かかる情報の正確性、完全性及び適切性等について何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。本資料に記載しております見通し、予想数値等の将来に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。

今後の業績等は、事業運営、経済情勢その他の様々な要因によって予想と異なる可能性がありますので予めご承知おきください。

■本資料に関するお問い合わせ

アイビーシー株式会社 コーポレートサービス統括部 財務・IR部

TEL:03-5542-0079

<https://www.abc21.co.jp/contact/ir/>